（自動通報方式）（Ior方式300kVA超過）

絶縁監視装置及び警報発生時の応動に関する説明書

1.　装置の構成

　　 絶縁監視装置の構成は第１図のとおりです。

 　　受変電設備に設置する絶縁検出器（以下「検出器」という。）及び検出器からの

信号を電話回線（無線回線）を使用して自動伝送する発信器及びその信号を受信する

電気管理技術者の常時携帯電話（以下「携帯電話」という）で構成されます。

携帯電話により警報を受信した場合は　3.「警報発生時の対応」により対応します。

 第１図

NTT等

中継局

お客様事務所等

伝送　無線

受電設備

電気管理技術者

携帯電話

 伝送　無線

検出器

Ｉor分

抽出回路

1. 各機器の性能
	1. 検出器

ア．変圧器のB種接地線に設置した検出用変流器より検出される漏洩電流を

整流増幅して、警報レベル警報値（50mA）比較し、それ以上の場合は警

報表示ランプを点灯するとともに、発信器に警報信号を出力します。

イ．警戒レベル警報に対する検出器の誤差は±10%以内です。

* 1. Ior分抽出回路

ア．Ior設定にすると　Io漏洩電流から有効電流分のみ抽出し警報レベルと比較します。

(3)　 発信器

ア．検出器の信号を受信すると、自動ダイアルで電気管理技術者の常時携帯する

携帯電話を呼び出します。

イ．携帯に電話接続された発信器は、検出器からの信号情報を携帯電話にメール

として伝送し、携帯電話が正常に受信したことを確認した後、電話回線を開放し、

送信を終了します。

（4） 携帯電話

発信器からの信号情報をメールで受信すると、受信日時、警報の状態及び

お客さま情報を表示するとともに、記憶装置に記録し呼出音で警報を知ら

せます。

受信信号の種類及び内容は第１表のとおりです。

　　　　第１表　受信警報の種類

|  |  |
| --- | --- |
| 警報の種類 | 警報内容 |
| 警戒警報 | 50mAを超えた漏洩電流が発生したことを示す。 |

3．警報発生時の対応

 お客さまに設置された発信器からの信号を電気管理技術者が携帯電話で受信し

 た場合は、電気管理技術者は次の通り対応します。

　　　　　＜　対応の方法　＞

　　　　　　電気工作物の異常の有無を電話で確かめるとともに、必要に応じ速やかに

　　　　　電気工作物の点検を行う。

　　4．絶縁監視装置のメンテナンス

　　　　定期的に絶縁監視装置のメンテナンスを行い、常に正常な稼働状態を保つよう

　　　にいたします。

5．絶縁監視装置仕様

　　　　使用する絶縁監視装置仕様は、絶縁監視装置等の設置に係る設備調査表のとおりです。

6．Ior設定の要件

　　　（１） 絶縁監視装置による有効（抵抗）分漏洩電流の高精度管理を目的とし、対地

静電容量による無効分漏洩電流の影響で、有効な管理ができない恐れがある場

合に、以下の条件を満たすように設置するものとします。

1. 動力用変圧器のみとし、結線が、異容量Ｖ結線、電灯動力共用変圧器でないこと。

　　　（２）絶縁監視装置仕様

　　　　　使用する絶縁監視装置仕様は、絶縁監視装置等の設置に係る設備調査表のとおりです。